

岩手県自殺対策推進センター ニュースレター

No.81 2019.1.21

発行：岩手県精神保健福祉センター・岩手県自殺対策推進センター



このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化するため、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。

ニュース 年度末に向け、取組強化を

警察庁の自殺統計に基づく平成30年11月の自殺者数

平成30年12月13日に厚生労働省から発表された「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」によると、全国の平成30年11月の自殺者数（1,601人：速報値）は、対前年同月比36人（約2.3%）増となり、平成

30年1月～11月の累計自殺者数（19,014人：速報値）は、対前年比912人（約4.6%）減となりました。一方、岩手県の平成30年11月の自殺者数（23人：速報値）は、**対前年同月比0人**となりました（表1）。年度末に向け、取組みを強化していきましょう。

（表1）

	平成29年11月（確定値）		平成30年11月（速報値）		自殺者数対前年比	
	自殺者数 （人）	自殺死亡率 （%）	自殺者数 （人）	自殺死亡率 （%）	自殺者数 （人）	増減率 （%）
全国	1,565	1.2	1,601	1.3	36	2.3
岩手	23	1.8	23	1.8	0	0.0

※発表されたデータはこちらのページから参照できます。↓

厚生労働省）～自殺対策～）自殺の統計：最新の状況

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuni tsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougais hahukushi/jisatsu/jisatsu_new.html/

トピックス ひきこもり支援への取り組み

ひきこもりとは

ひきこもりとは、「さまざまな要因の結果として、社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭に留まっている状態（他者と関わりのない形での外出をしている場合も含む）」と定義されています。原則として統合失調症の症状に基づくひきこもり状態とは区別されますが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低いとされます。

ひきこもり支援のために

ひきこもりに至る背景は様々で、複数の要因が絡み合っていることが多くあります。またひきこもり生活を続けるうちに当初とは違う問題が起こってくることもあります。そのため、ひきこもりの方が抱える問題は、本人の健康状態や対人不安など本人自身が抱える問題から、家族、周囲の環境、経済問題といったものまで多岐にわたります。様々な相談窓口が連携しながら支援にあたることが望まれます。

岩手県精神保健福祉センターの取組み

岩手県精神保健福祉センター内に、ひきこもり状態にあるご本人やご家族が第一次的に相談できる窓口として、平成21年8月「岩手県ひきこもり支援センター」が設置されました。本センターでは、電話・来所による相談、関係機関への技術支援、一般の方や支援者を

対象とした研修会の開催、当事者の居場所支援事業を行っています。

昨年8月4日、筑波大学の斎藤環先生をお招きし、ひきこもり公開講座・支援者研修会を開催しました。公開講座には260名もの方のご参加がありました。斎藤先生からは、ひきこもりの方への対応の仕方や、最近注目され始めている「オープン・ダイアログ」という手法を用いたひきこもり者支援についてご講義をいただき、大変有意義な機会となりました。

また当センターでは、関係機関への技術支援として、県内各保健所や関係機関に出向いての講義や事例検討の助言を行っており、これを通じて相談支援体制の充実に努めております。

ひきこもりに関する相談は家族、当事者どちらからの相談でも結構です。来所の際はお電話での予約をお願いしています。また、居場所支援事業「小さな集まり」を裏面のとおり開催しています。見学、参加のご希望は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

参考文献：ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン（厚生労働省）



◆小さな集まり（当事者グループ）

本会は、グループでの話し合いやヨガなどのリラクゼーションを通して、ストレスとの上手な付き合い方を学び、社会復帰や社会生活の不安軽減を目差し、ていく集まりです。

開催日時：原則毎週火曜日 13:30～15:00

会場：岩手県福祉総合相談センター 4階 デイケアルーム

対象：社会復帰や社会生活に不安を抱える方

参加申込み：新規の方は事前に電話でご連絡をいただき、個別面接を実施した上で参加となります。

お問い合わせ先：岩手県精神保健福祉センター（岩手県ひきこもり支援センター）
電話 019-629-9617（土日、祝日、年末年始を除く 9:00～16:30）

お気軽にお問い合わせください。

ホームページでも「小さな集まり」についてご案内しております。チラシをダウンロードすることができますので、ご利用ください。

<http://www.pref.iwate.jp/seishinhoken/annai/006959.html>



フィールドレポート 精神障がい者地域移行・地域生活支援関係者基礎研修会

昨年12月19日「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」の推進を目的とし、精神障がい者地域移行・地域生活支援関係者基礎研修会が開催され、約120名の保健医療福祉関係者が出席しました（会場：岩手県産業会館）。午前中は、岩手県障がい保健福祉課職員から精神障がい者の地域移行に関する国の動向や県の取組の説明、また、医療機関、相談支援事業所、行政それぞれの立場から地域移行に関する取組の報告がありました。午後は、社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院理事長の智田文徳先生から、「今後の精神科医療の方向性」と題し、未来の風せいわ病院の地域移行を始めるまでの経過や地域移行機能強化病棟での取組を講演いただき



講演の様子

ました。支援（意欲喚起プログラムなど）を通じ当事者や家族、職員の取組姿勢の変化についても報告がありました。

多職種連携の重要性が指摘されている中、自分たちは何のために精神医療や精神保健福祉に携わっているのか考えること、「理念は何か」をしっかりと持つこと、当事者の可能性を信じるのが大切であることをお話いただきました。参加者自身が活動や役割を振り返る機会となり、これからの活動を進めていくうえで大変参考となりました。

その後、活動報告や講演での学びをもとにグループワークを行い、各所属での取り組みを話し合い、情報共有をするとともに職種の強みを再確認することができました。

今後、研修での学びを各所属に持ち帰っていただき、地域移行、退院促進、地域生活支援に取り組んでほしいと思います。

インフォメーション H31年1月～のプログラム等のご案内

専門職向け研修 対象：保健医療福祉関係者等

日程	テーマ・助言者・内容等
1 1/24(木) 14時～16時	第76回地域ケア検討会 助言者：岩手医科大学附属病院 精神科医 工藤 薫 先生 内容：ミニレクチャー 精神疾患の理解と対応の基礎⑤「パーソナリティ障害」、事例検討1例
2 1/25(金) 13時30分～16時30分	未遂者支援研修 会場：岩手県二戸地区合同庁舎3階 講師：岩手県精神保健福祉センター 所長 小泉 範高 内容：講義「若年者のメンタルヘルスと支援者のあり方」（仮題）、演習 他
3 2/28(木) 14時～16時	第77回地域ケア検討会 助言者：岩手医科大学附属病院 精神科医 工藤 薫先生 内容：ミニレクチャー 精神保健対応と最近の話題、事例検討1例
4 3/14(木) 14時～16時	第78回地域ケア検討会 助言者：調整中 内容：ミニレクチャー 精神保健対応と最近の話題、事例検討1例

お申込み等、詳細はホームページをご覧ください。（随時、掲載予定）

参加希望の場合は、ホームページから申込用紙をダウンロードしてご記入し、FAXでお申込み下さい。
<http://www.pref.iwate.jp/seishinhoken/shien/006959.html>

ご不明な点、ご質問等は、お電話でお問合せ下さい

お申込み・お問い合わせ
岩手県精神保健福祉センター

☎ 019-629-9617
（土日祝日、年末年始を除く
9時～16時30分）

FAX 019-629-9603